

まなぶくんだより

和歌山県教育センター学びの丘 広報誌



平成 30 年度戦略的な学校経営力向上事業

本事業は、学力向上の取組に成果を上げている県外の学校での実地研修を通して、学校の課題を突破する力量をもった教頭の養成と、研修内容を県内に普及し学校経営力を向上させることを目的として、平成 28 年度から実施しています。

今年度も 5 名の受講者が福井県で 2 週間の実地研修に臨みました。受講者は各研修先で、校長・教頭からの講話や教職員との交流、授業参観、会議への参加等を通して、学力向上や幼保小中連携、校務の効率化、地域との連携等についての様々な取組を学びました。また、市の教育委員会や連携する学校を訪問して聴き取りを行ったり、地域の行事や福井県の教頭研修会、教職大学院の合同カンファレンスに参加したりしました。

実地研修後は、所属校の実態に合わせた形で、学んだことを実践したり次年度の計画に組み入れたりして学校経営に生かすとともに、各地域において成果の普及を図っています。

1 月には、「学力向上コアティーチャー養成・活用事業」により秋田県で学んだ受講者と合同で事後研修会を行いました。実地研修で学んだことや自校での取組を踏まえて、和歌山県の教育をより良いものにするために、受講者それぞれの立場から、授業改善や更なる普及についての意見を出し合いました。

| 学校名 職名・氏名 | 研修先 | 研修期間 |
|-------------------------|-----------|------------------------------|
| 和歌山市立山口小学校 教頭 藤原 ゆうこ | 福井市円山小学校 | 10 月 29 日(月) ～11 月 9 日(金) |
| 岩出市立岩出中学校 教頭 寺本 亮 | 敦賀市立粟野中学校 | 10 月 29 日(月) ～11 月 9 日(金) |
| 湯浅町立山田小学校 教頭 川嶋 啓生 | 福井市旭小学校 | 11 月 26 日(月) ～12 月 7 日(金) |
| 美浜町立松原小学校 教頭 芝崎 敏彰 | 福井市中藤小学校 | 11 月 5 日(月) ～11 月 16 日(金) |
| 古座川町立神明小学校 教頭 山本 健司 | 鯖江市神明小学校 | 10 月 29 日(月) ～11 月 9 日(金) |

今年度の受講者の皆さん



合同事後研修会の様子



縦割りの班で行う無言清掃

授業参観を通して学力向上に効果的な取組を学ぶ

県の教頭研修会や学年会議に参加



【所属校での実践例・次年度の計画例】

- ・校務分掌の明確化（教育計画に明示）
- ・職朝や終礼の持ち方の検討
- ・研究主題の達成状況の確認と改善点の明示
- ・小中の連携を密にした、研究体制の共有や合同教材研究会の実施
- ・学習環境の整備
- ・学習規律の統一・徹底
- ・「話すとき・聞くときのきまり」を教員で共有
- ・読書の機会を増やす取組の推進
- ・系統性を意識した授業づくりのための教科部会を実施

実地研修で学んだことを生かして、様々な取組を進めています。





特別支援教育におけるICTの活用

2月2日(土) 学びの丘研究報告会において、ミニ研修「ICTで広がる特別支援教育～タブレットを使って学んでみよう～」を行いました。

はじめに、特別な支援を必要とする子供たちにICTを活用することの意義や留意点などを確認しました。その後、学習での活用が期待されるアプリを紹介し、タブレットPCを使った体験的な演習を行い、その効果を実感してもらいました。参加者の皆さんからは、「明日からの授業に活かせるものばかりでした。」、「体験することで、よさや使い方などを知ることができた。」、「こういう研修があればまた参加したい。」などの感想が寄せられました。

子供たちの個性や特性に応じてICTを活用することは、学習面や生活面における困難を取り除いたり、減らしたりすることができるとともに、子供たちの可能性を広げることが期待できます。興味がある、詳しく知りたいという方は、学びの丘までご連絡ください!!

【紹介したアプリ】

- ・ホワイトボード機能があるアプリ
- ・漢字学習用アプリ
- ・写真でパズルが作れるアプリ 等



2人ペアでタブレット体験



展示コーナー

タブレットPCの特性

- ノートパソコンなどと比べると、
 - ・電源を入れれば、**すぐに起動できる。**
 - ・キーボードなどの間接的な操作に比べて、**直感的な操作**ができるので**理解しやすい。**
 - ・困ったときでも「**ホームボタン**」を押せばすぐに戻せる。
 - ・**アプリの機能**も単純なものが多いため、操作する中で理解しやすいものが多い。



※参考文献：金森克浩編「決定版！特別支援教育のためのタブレット活用」(ジヤース教育新社 2016)

学び続けるということ

Monthly 所長コラム 教育センター学びの丘 所長 鈴木 晴久

17 夢と希望をもって

“I Have a Dream” (私には夢がある)。これは、マーティン・ルーサー・キング・ジュニア (Martin Luther King, Jr.) 牧師が、「ワシントン大行進 (1963年8月28日)」において行った演説の中の言葉です。キング牧師は演説の最後の方で、ゴスペル歌手の、「あなたの夢をみんなに伝えて」という叫びに呼応して、即興で何度もこの言葉を使い、人々の共感を呼びました。そして、この演説が、1964年の公民権法 (Civil Rights

Act) の制定につながっていくのです。

「夢」や「希望」は、人間が様々な危機や困難に遭遇したときに、それを乗り越えさせる力をもっています。ギリシア神話で、人間を作ったプロメテウスは、パンドラの箱の最後に「希望」をしまっておき、襲いかかってくるあらゆる災いから人間を守ろうとしました。

学び続けることも同じで、この「夢」と「希望」があるからこそ、学び続けることができるのではないのでしょうか。「月へ行きたい」、「病

気を治したい」、「公平な社会を作りたい」、「料理をおいしくしたい」等々、それぞれの分野やレベルが異なっても、こうした「夢」や「希望」を支えに、研究を続けることができるのです。

何かを学ぶ際には、それがもたらす「夢」や「希望」をもってください。と同時に、これから学びに向かう子供たちが「夢」と「希望」をもって安心して学んでいけるような教育環境の充実を心がけていってほしいと思います。